

## 基本政策 1 住み慣れた地域での安心した心地よい暮らしの実現

### 【基本政策の方向性】

市民が、生活の拠点である住み慣れた地域に根ざし、ともに支え合いながら、安心・充実した生活を送ることで、心地よい暮らしが実現できる“まち”を目指します。

### 5年後の目指す姿

「地域住民が助け合って生活する“まち”」

地域住民、福祉関係機関等さまざまな人や団体が、助け合いながら生活できる住みよいまちづくりを進めます。

【数値目標】	現状値	目標値
市の福祉施策（福祉のまちづくり）に関する満足度（市民意識調査）	56.1%（H30）	⇒ 70.0%（R7）

### 基本施策

#### 1－1 自立に向けた支援

一人ひとりが、安心した生活を送ることができるよう支援し、自立できることを目指します。

【KPI】	現状値	目標値
生活保護制度における保護率	1.55%（H30）	⇒ 1.33%（R7）

#### 【主な取組】 相談・支援体制の充実

生活サポートセンター☆ふじみ<sup>1</sup>にて行われている生活困窮者、その家族等への相談・支援体制を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
生活サポートセンター☆ふじみでのプラン作成件数	56 件/年（H30）	⇒ 80 件/年（R7）

<sup>1</sup>仕事や生活費などでお困りの方に対して、専門のスタッフが相談に応じ自立に向けた支援を行う機関

## 1-2 共に支え合う仕組みづくり

市民同士、市民と福祉関係機関等様々な人や団体が、住みよい“まち”となることを目指し、ともに支え合う仕組みづくりを進めます。

【KPI】	現状値	目標値
地域活動への参加状況（参加したことがない）（市民意識調査）	40.1%（H30）	⇒ 38.5%（R7）

## 【主な取組】避難行動要支援者制度の拡充

災害時に自力で避難することが困難な方が、地域での支え合いにより避難できるよう、制度の拡充に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
年間外部提供同意者 <sup>2</sup> 数	50 人（H30）	⇒ 75 人（R7）

## 1-3 公的サービスの充実

自らの力や地域での支え合いだけでは解決できない生活課題に対し、その課題に合ったサービスを適用できるように関係部署との連携強化などを行うことで、公的サービスを充実します。

【KPI】	現状値	目標値
ケースワーカー一人当たりの月平均訪問件数	18.2 件（R1）	⇒ 20.0 件（R7）

## 【主な取組】庁内関係部署を中心とした情報共有、各担当者のスキルの維持・向上

公的サービスを必要とする方が、適切なサービスを利用できるよう関係部署間での情報共有や各担当者のスキルの維持・向上を図っていきます。

【KSF】	現状値	目標値
担当者勉強会の回数	8 回/年（R1）	⇒ 12 回/年（R7）

## 関連する SDG s ゴール



災害時に脆弱な立場にある人が、地域の支え合いにより避難行動が取れるシステムを拡充していきます。 関連ターゲット（11-5）



地域の支え合い、適切な公助の適用等により虐待による暴力の低下に寄与していきます。 関連ターゲット（16-1、16-2）



民生委員・児童委員や社会福祉協議会、社会福祉活動団体など地域福祉活動の担い手との連携を強化し、ともに生きるまちづくりに取り組みます。 関連ターゲット（17-17）

## 関連計画等

第3次富士見市地域福祉計画（令和3年度～令和7年度）

## 関連部署

健康福祉部 福祉課

<sup>2</sup> 避難行動要支援者名簿対象者のうち、支援機関等に情報提供することに同意していただいた方